



# エミールだより

# 8月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

## 「教育の目標(どんな人間に育てるか)について」

いつもより早い梅雨あけのおかげで。お天気を心配せずに花火大会やキャンプを終えることができました。そしていよいよ蝉取りシーズンの到来です。白い網を片手に一生懸命蝉の姿をさがす表情の、なんと子どもらしいことでしょう。その時々で面白いことをみつけ、とことん追求していく子どもたちは、「今を楽しむ」天才ですね。まだまだ続く夏の暑さをしのぐエネルギーは、今年もまた子どもたちからたっぷりもらえそうです。

ところで、教育とは子どもの人格形成の手助けをしていく仕事です。さらに言えば、「知性」「情操」「意思」のバランスが取れた人間へと導くことです。ただこれだけでは足りず、文化や時代の変化、その国の求めるものによっても、教育の目標が定められます。

今の日本には、「自分で考え・自分で判断し、自分で行動する人間を育てる」(昭和63年中教審答申)という目標が定められ、さらに「いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動し、よりよく問題を解決する能力を持った人間を育てる」(平成8年同)と、よりはっきりしたものに変えられました。実に素晴らしい目標です。これから世界に羽ばたこうとする日本人に、多少欠けている資質や能力を補おうとするものだからです。

ここで、モンテッソーリ教育の目標も紹介しておきましょう。それは「自立していて有能で、責任感と思いやりがあり、生涯学び続けていく人間を育てる」ということです。表現は同じではありませんが、日本の教育の目標と内容や精神に共通点があるとは思いませんか。

この目標を達成するために、子どもたちは毎日次のような活動をしています。

- ① 自分の興味や関心のある活動を見つけ、先生の手助けを借りながら自分で進めていく。
- ② 順序性や段階性のある活動を通して道すじを見つけ出し、計画を立てたり段取りをつけることができるようになる。
- ③ 自由と規律の関係を知ることにより、自己と他者との調和を図り、自分自身の位置づけを知ることができるようになる。

この他にもいくつかのポイントがありますが、大切なことは毎日しっかり時間をかけて子どもに体験させることです。「ローマは1日にしては成らず」のことわざは、子どもの人格形成にも言えます。そのためにも、この教育目標を、決して見失うことがないようにしておきたいと考えています。  
(園長より)



## 花火大会の御礼



先日の花火大会は、天気にも恵まれ盛大に開催することができました。バザーの準備や販売、暑中での会場設置などのご協力ありがとうございました。バザーでのメニューも好評でしたね。皆さんのおかげで子どもたちの最高の笑顔を見ることができました。本当にありがとうございました。父母の会主催でしたので、会計報告その他反省については、後ほどお知らせがあると思います。



## 8月の行事予定

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	お盆
14	水	お盆
15	木	お盆
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	避難消火訓練
30	金	
31	土	
9/1	日	
2	月	8月誕生会

## <幼児特別指導>

体育教室  
5歳児 30日(金)